

児童福祉週間(制定60周年)標語「大切だよ 信らいすること されること」

児童福祉文化賞

平成18年度
発表会

対象年齢 3歳以上

だって だっての おばあさん

とても年寄りのおばあさんが、
ねこと暮らしてありました。
ある雪の降る夜、
キキココ…と不思議な音とともに
自転車豚の姿が…。

作:佐野洋子 脚本・演出:西田豊子

「だってだってのおばあさん」あのひの音だよ おばあちゃん」フレーベル館刊より

期日 平成18年 5月13日(土)

開場 14:00

開演 14:30 (終演 15:40)

会場 東京都児童会館

入場無料

定員:当日先着

500名
プレゼント付

歌あり踊りあり…
たっぷりの笑いと感動を
お届けします



©佐野洋子 1985

劇団うりんこ

出演:柴田早苗 島崎薫
内田成信 長瀬景

美術:方勝

音楽:佐藤容子

照明・音響:四方あさお

衣装:後藤優子

演出助手:小原ひろみ

舞台監督:内田成信

主催:(財)児童健全育成推進財団/(財)こども未来財団

後援:厚生労働省/(社福)全国社会福祉協議会/(財)児童育成協会/(社福)日本保育協会/(社福)東京都社会福祉協議会

だってだってのおばあさん



この作品について 劇団うりんこ

この作品は「だってだってのおばあさん」と「あの日の首だよばあちゃん」の2冊の本からおしばいにしました。99才のおばあさんと5才の子ねこの平凡でのどかな日常生活は、ある日、突然現れた天才ねこの出現によって一変してしまいます。なにしろ天才ねことしたら、

すばらしく何でも出来てしまうのですから…。自分にはないものをいっぱい持っている彼の存在に、心がザワザワし始めます。そのザワザワの正体は… あこがれ…? それとも嫉妬…? おばあさん、子ねこ、天才ねこ、皆それぞれ自分の存在価値を求めて、一生懸命四苦八苦し

ます。そしていやが応なしに、皆、自己と対面し、それまで生きていた価値観をめぐって葛藤し、その結果ちよっぴり…成長していきます。観てくれた子どもたちが、自己と対面し、心をザワつかせ、ちよっぴり…成長してくれたらうれしいなと思います。

鑑賞方法

鑑賞は無料です。3歳以上の方が対象です。
定員 500名(当日先着) **連絡先** (財)児童健全育成推進財団 TEL.03-3486-5141

児童福祉文化賞とは

「児童福祉文化賞」は、昭和34年、児童福祉週間を記念して、児童の文化の振興を図るため、「優れた児童文化財に対して厚生大臣表彰を行うもの」として設けられました。

厚生労働省の社会保障審議会では、出版物、舞台芸術、映像・メディア等の各部門毎に優れた作品等の推薦をおこなっています。これをもとに、児童健全育成推進財団とこども未来財団が主催して、各部門の推薦作品の中から特に優れたものを選考し、受賞者に対して「児童福祉文化賞」及び「児童福祉文化賞推薦作品」として厚生労働大臣賞と記念品を贈呈しています。合わせて児童福祉文化財の発表・上演をおこなっています。

東京都児童会館 案内図



13日の同時開催イベント



第5回 ふれあい子育て交流会

主催 東京都児童会館
 東京都地域活動連絡協議会
 (みらい子育てネット東京)

- 日時 平成18年5月13日(土)10:00~16:30
 会場 東京都児童会館
 内容 ●子育て支援活動団体による展示会 10:00~16:30 地下1階 多目的スペース
 ●ワイワイひろば 「パフォーマンスがいっぱい!」 10:00~15:00 1階 スペース
 ●「親子で楽しむジャズコンサート」 13:00~14:00 4階 講堂

問合せ ☎ 東京都児童会館事業係 TEL.03-3409-6361